

ほけんだより

令和8年(2026年)7月7日
札幌市立発寒南小学校 保健室

7月に入り、これから熱中症が心配な時期になります。学校で休み時間後の様子を見てみると、髪が濡れるくらいたくさん汗をかき、顔を真っ赤にしている子どもたちの姿が見られます。

熱中症予防のためには、喉が渇いたと感じる前に「こまめに」「少しずつ」水分補給をすることが大切です。

学校でも熱中症予防のための声掛けを行っていきますが、ご家庭でも、水筒や通気性の良い服装の準備等、ご協力をお願いいたします。



5・6月の保健室

【5月】

○外科	142名
○内科	123名
○相談・その他	7名

【6月】

○外科	182名
○内科	127名
○相談・その他	6名

溶連菌感染症の報告が続いています

本校では、4月は5名、5月に12名、6月には11名の「溶連菌感染症」の報告がありました。溶連菌感染症に罹患した場合は、出席停止の取り扱いになりますので、医療機関で診断された際には、学校へご連絡ください。

その他に、校内で流行している感染症は、現在のところありませんが、手洗いやうがい等の基本的な感染症予防を引き続きよろしく願いいたします。

★溶連菌感染症とは？

溶血性連鎖球菌という細菌による感染症で、喉の痛みを伴う咽頭炎の2割程度は、この菌が原因と言われています。発熱で気づかれることが多く、咳やくしゃみなどの飛沫感染で人から人へうつります。

★症状

のどの痛みや扁桃腺の腫れから始まり、頭痛、身体のだるさなどの風邪症状と共に、38~39℃の高熱が出ます。発熱から数日後に、かゆみを伴う発疹が体に現れたり、舌にイチゴ状の小さくて赤いブツブツとした発疹が見られたりする場合があります。中には、それほど高い熱が出ていなくても、検査の結果、溶連菌感染症と診断される場合もあるようです。

★診断されたら

抗生物質を服用する必要があります。回復後、まれに急性腎炎やリウマチ熱にかかることがあるため、症状がなくなっても、医師から決められた期間、服薬を継続します。

1学期の健康診断が終了しました

1学期に予定していた全ての健康診断が終了しました。準備や問診票の記入等、ご協力いただき、ありがとうございました。

検診の結果、治療や観察が必要と思われるお子さんには、「結果のお知らせ」(黄色のプリント)をお渡ししています。学校で行う健康診断は「スクリーニング」といって、「疑い」を見つけ出すもので、「診断」をするものではありません。受診を強制するものではありませんが、普段のお子さんの様子や通院等の状況と学校での健康診断の結果を参考にされ、必要に応じて、受診を検討していただければと思います。すでに受診された場合は、お知らせ用紙下部の「連絡書」を切り取り、必要事項を記入して、学校へご提出ください。

なお、健康診断につきまして、ご不明な点等ございましたら、養護教諭まで、ご連絡をお願いします。

視力検査 (全学年)

検査の結果、B以下(矯正の場合も含む)のお子さんに、検査結果を配付しました。

学校で行う視力検査は、A(1.0以上)、B(1.0~0.7)、C(0.7~0.3)、D(0.3未満)のみの簡単な検査ですので、どのような屈折異常(近視・遠視・乱視等)があるかは分かりません。まだ受診されていない方で、「見えづらい」と感じている場合は、一度医療機関で診てもらおうと安心です。



内科検診、運動器検診 (全学年)

内科検診については、詳しい検査、治療や経過観察が必要なお子さんにお知らせ用紙を渡しました。

運動器検診につきましては、内科検診時に精密検査や経過観察が必要であると思われるお子さんに、結果を知らせています。学校の検診で異常がなくても、日常的に痛みが続いているなど、心配な症状がある場合は、医療機関へのご相談をおすすめします。



歯科検診 (全学年)

詳しい検査、治療や経過観察が必要なお子さんにお知らせ用紙を渡しました。

むし歯は放置しておいても良くなることはありませんので、むし歯があるというお知らせがあった場合には、一度受診されることをおすすめいたします。

今年度、「歯みがきが不足しています」という項目にチェックが付いていたお子さんが多数見られました。この場合、連絡書の提出は必要ありませんが、ご家庭でお子さんの歯みがきの仕方を確認していただき、むし歯予防に努めていただければと思います。



聴力検査 (1・2・3・5年生)

検査の結果、全員「異常なし」という結果でした。



耳鼻科検診、眼科検診 (1・4年生)

詳しい検査等の必要があったお子さんには、お知らせ用紙を渡しています。

尿検査 (全学年)

詳しい検査等の必要があったお子さんには、個別に連絡をしています。